

議会だより

6月定例議会

しらたか



元気に行進 火の用心

議会の新しい構成 ③ p

ヤナ公園環境保全対策事業に追加補正・・・ ④ p

- ・ 6月定例議会概要 ② p
- ・ 町への質問・提言(3議員が一般質問)..... ⑤ p~ ⑦ p
- ・ 委員会レポート ⑧ p~ ⑨ p
- ・ 追跡レポート(あの質問のゆくえ)..... ⑫ p

Vol.95

2007.7.20

発展のために

議論が白熱

十分な説明責任を果たせ

町民の理解を得るには、わかりやすい説明が大事

定例議会は、6月12日から18日までの7日間の会期で開かれました。

最初に、平成元年8月26日、「鷹」の字が付く5市町が相互に交流・親善を行い活性化に役立てようと発足したホークスサミットが、市町村合併で3市町となり平成19年3月をもって発展的に解散したとの報告がありました。

本会議に提出された主な議案は、

白鷹町特別職の職員の給与に関する条例など条例4件、

19年度各会計補正予算ですが、

審議の結果原案のとおり可決しました。

道路整備の請願1件は、採択となりました。

一般質問は、3名の議員が当面する町の問題点や課題をたどりました。

任期満了の人権擁護委員候補者の同意、推薦案件は、全会一致で同意、推薦しました。

にぎわう「のどか村祭り」

我が町の確かな

臨時議会

町民の負託に新体制でスタート

5月1日、議員定数が4名減になったの選挙で当選した14名の議員が出席して、初議会が開かれました。議長や副議長の選挙と、2つの常任委員や一部事務組合議会議員の選任が行われ、新しい議会の体制を決めました。

選挙の結果、議長に船山仁議員、副議長に青木彰榮議員を選出しました。その他の構成は、次のとおりです。

総務厚生常任委員会

総務、厚生に関する事務の調査や請願

・陳情などの審査を担当

所管 総務政策課 町民税務課

健康福祉課 町立病院など

遠藤幸一

佐藤誠七

五十嵐政司 菅 祐二 船山 仁

加藤秀人 関千鶴子

産建文教常任委員会

産業、建設及び、文教に関する事務の

調査や請願・陳情などの審査を担当

所管 産業振興課 建設水道課

まちづくり推進課 農業委員会

教育委員会

今野正明

守谷丹吾

本木勝利 岡田 明 青木彰榮

大滝 賢 菅原隆男

議会運営委員会

議会の運営に関する事項や議長の諮問
に関する事項などを担当

岡田 明

遠藤幸一

本木勝利 五十嵐政司

青木彰榮 今野正明

監査委員（議会選出）

加藤秀人

議会広報特別委員会

定例議会後に、議員の自主編集で「議
会たより しらたか」を年4回発行

大滝 賢

関千鶴子

佐藤誠七 守谷丹吾 菅原隆男

鮎貝まちづくり事業調査特別委員会

五十嵐政司

大滝 賢

議長を除く全議員

一部事務組合議会の議員

置賜広域行政事務組合議会

議員 船山 仁 五十嵐政司

菅 祐二

西置賜行政組合議会

議員 大滝 賢 佐藤誠七 守谷丹吾



新体制の議員・執行部

6月定例議会日程

月 日	会 議
6月5日	議会運営委員会
6月6日	議会広報特別委員会
6月12日	本会議、一般質問
6月13日	総務厚生常任委員会
6月14日	産建文教常任委員会
6月18日	議会運営委員会 本会議 議会広報特別委員会

一般
会計

地籍調査
などに

1,769万円を追加補正

総額71億504万円となる

補正の主なもの

- 一般会計補正予算の主なものは、
 - ・地籍調査費に 444万円
 - ・ヤナ公園環境保全対策事業に 730万円
 - ・しらたかの音楽映画塾開催事業に 50万円
 - などです。
- 財源は、県支出金、繰越金などに対応します。

疑 質

債務負担行為の内容は
議員 よつば保育園管理運営業務の債務負担行為の内容を伺います。
当局 指定管理者の委託期間は平成21年から25年までの5年間です。限度額は国の基準により保育単価に在所児童数を乗じた額になります。児童数は流動的ですが、1年目は7100万円、5年間で3億6800万円を見込みます。

住民との関係は
議員 よつば保育園の候補事業者の選定と、選定後の運営を伺います。
当局 審査の方式は書類審査と公開ヒヤリングです。運営は、住民、保護者、園が一体となって運営委員会を立ち上げていきます。

債務負担行為
 単年度で歳出予算を計上できない場合に、事項、期間、限度額を明示して予算を定め議決を得て町が将来にわたって支出義務を負うこと。

平成19年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	1,769万円	71億 504万円
特別会計	老人保健 33万円	17億9,346万円

条 例

新しくなること



一流人が勢ぞろい（しらたかの音楽映画塾）

一律に日額1000円減
 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正により、白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の、投票管理者など選挙事務従事者の報酬を改正します。

「障害」の表記が「障がい」に
 山形県医療給付事業補助金交付規定の改正により、重度心身障害(児)者医療給付事業の「障害」を「障がい」に。所得制限の緩和などの関係する条文を整備します。

固定資産税の課税免除の要件を改正
 租税特別措置法の改正により、適応設備の規模要件が引き下げられたために、減収補てん制度の対象となる設備の規模要件を整備します。

個別排水処理施設整備事業の区域を拡大
 「壺・安海檀」を追加します。

今野正明
議員



財政展望など町民の不安の無いように説明責任を果たせ

町長 町民の皆様にわかりやすく理解される説明をしていく

町民への説明の姿勢が大事

今野 厳しい地方行政財政時代です。町民の不安などを解消する将来ビジョン、とりわけ財政計画の今後の見通しを、町民にわかりやすく、誤解なく、納得のいく説明をすべきと思いますがいかがですか。

町長 予算や決算の状況、町のバランスシート、財政状況などの一覧表を、その都度、町報で情報を提供しています。

また、町のホームページ上でもお知らせしています。

公債費の要因は

今野 現在ある累積債務の主な要因、中身は何ですか。その債務残高は今後どうなりますか。また、鮎貝まちづくり事業による影響はどうですか。

町長 公債費（借金返済）の要因は、健康福祉センターをはじめとして、鷹山小学校や東中の大規模改修、スキー場、スカイパーク、特養ホーム増床などです。公債費残高は18年度末の一般会計で約104億円ですが、5年後には74億円程度まで減少します。

なお、特別会計、企業会計などの他会計の借金残高は、83億円程ですが、これも5年後には、74億円となり、全体で21%強の減少となります。

これは、鮎貝まちづくり事業も見込んでの額です。公債費残高は、過疎債など有利な財源を活用しており、国から交付税として約60%措置されますので、40%が町の返済の必要額です。

町長 振興実施計画に基づき整備していきます。公正・公平は行政の推進の基本であり、今後、下水道の負担割合など、公平となるよう具体的に検討していきます。

公平、公正なまちづくりをどうとらえる

今野 借金を減らして行くとのことですが、生活に欠かせない社会資本整備は、ちゃんとできますか。また、下水道や公共交通などは、地域間で負担の格差がある

町民の声を聞く機会を設けよ

今野 町報での説明で十分でしょうか。インターネットも町民の何パーセントの人が見ているか。地域へ出向くなど、町民に配慮した説明をすべきです。

町民への説明責任の一環として、移動町長室を地域ごとに、管理職ともに出向いて実施してはどうですか。

町長 移動町長室は、町民の要望に応じて開催するだけでなく、行政の方で主体的に取り組む必要があります。

町民のご意見は非常に大事なので、今後は実施のあり方を改善していきます。



まちづくり座談会

本木勝利 議員



選挙は公平、公正が大原則

選挙管理委員長 不信の抱かれない選挙事務を実施

のつに、外鍵（南京錠）の錠棒がきちっと入っていない」と指摘がありました。私は開票管理者として、その事実を確認しました。

指摘後の対応

本木 本来、選挙の公平、公正の大原則からいえばあってはならないことです。不備の原因についてなぜそうなったかを調査し、立会人の方々に説明をして進めるべきと考えますがどうですか。

選挙管理委員長 不正はなかったとして進めましたが、指摘後の対応として適正であったかを判断すると、配慮に欠ける事務処理であったと考えています。

書記長 指摘後の対応として必要だったことは、立会人に状況を詳しく説明し、不正がなかったという開票管

理の意思の伝達があるべきだったと考えています。

再発防止へ向けて

本木 選挙管理委員会として再発防止の対策をどうしますか。

書記長 開票の事務従事者の方々に前日説明しますが、当日も徹底していきます。

町長としての所見

本木 選挙事務に多くの職員が携わっていますが、今までの問答を聞いて、町長はどのような考えを持ちましたか。



公正な投開票管理を

町長 選挙事務には、多数の職員が一致協力しながら行っています。今後は誤りの無いように的確、適正に執行をするようにお願いをしたいと思います。

さらなる緊張感が必要

本木 これからは、さらに緊張感を持って選挙事務を行う必要があると思います。選挙管理委員長の考えをお聞かせします。

選挙管理委員長 この度は配慮に欠けたものがあり、ご指摘のとおりと考えています。

今後は不信の抱かれることの無いようにしていきます。

投票箱の施錠不備
本木 4月に行われた町議選の開票作業時、投票箱の一つに施錠の不備があったと聞くがどうですか。

選挙管理委員長 4月22日に行われた町議選の投票事務は、投票管理者と立会人開票事務は開票管理者と立会人の協力を得て、おおむね円滑に執行されたと総括しています。

しかしながら開票前の点検で、立会人から「投票箱

佐藤誠七
議員



活力ある元気なまちづくりについての現状と課題

町長 耐震補強が必要な学校は改修工事に努める

道路補修を早急に行うべき

佐藤 下水道工事などが行われた後の町道の損傷が多く見受けられ、各地区より整備の要望が出されていると思うが、どのように整備をすすめていくのか伺います。

町長 町道整備の要望は、町民の方々から数多く寄せられ、維持補修の必要性は十分わかっているため危険度、優先度を決めながら、必要性を精査し、予算の対応をしていきます。

小中学校の耐震診断の結果は

佐藤 小中学校の耐震診断調査が昨年度に行われたが、結果はどのようになっていますか

るか伺います。

町長 昭和58年以前に建設された番桑、東根、西、東の小中学校4校を、一番精度の高い診断を行いました。結果は、震度5程度までは、倒壊の恐れはない。しかし、調査した全ての体育館と西、東中の校舎は何らかの耐震補強が必要であるので、改修工事の実施に向けて努めていきます。

鮎貝まちづくり事業の

一般向け分譲の見通しは

佐藤 鮎貝土地区画整理事業地内の組合保留地の一般向け分譲の見通しはどうか伺います。

町長 保留地の販売は、平成16年10月から開始し、イベントやPRを行い販売促進を行ってきたが、一般保留地の販売は69区画中8区画と厳しい状態です。今

後は、新駅、文化交流センター、子育て支援住宅や道路整備が進むため、組合と連携して販売促進に努めていきます。

魚道を造り魚を取り戻せ

佐藤 町内の河川には、氾濫防止のため落差工が設置され、魚が遡上できない箇所が見受けられます。環境、親水や自然回帰が叫ばれている今日、町が中心となり、魚道設置を行うべきと思うがいかがですか。

町長 魚道の設置は、河川域の町民の方からも要望が出されているので、県当局に対し、河川に魚が戻るなどの自然回帰に向けた要望を行います。



ボランティアによる河川清掃

レポート

常任委員会

総務厚生

よつば保育園の指定管理候補者を8月下旬に選定

6月13日、委員会を開催し、所管事務調査をしました。

土地開発公社は、長期保有土地の処分が進み経営状態が良いとの報告を受けました。

ケイエスしらかは、24名の職員を病院へ派遣しているとの報告がありました。

町集中改革プランでは、平成21年度まで職員を採用しない方針から、平成20年度から若干名の新規採用を行いたいとの説明がありました。が、なぜ職員の採用が必要なのか、町民にわかりやすい数字を入れた資料の提出を求めました。

中山小学校の跡地利用については、12月まで方向性を決定したいと考えています。

よつば保育園の民営化については、指定管理者制度を活用し、8月下旬に候補事業者を選定したいとの説明を受けました。

法務局長井支局が米沢支局へ統合される計画が示されたので、長井支局の存続を関係機関へ要望している状況と長井クリーンセンターの現状と町内に設置が計画されている廃プラスチック圧縮梱包施設についての取組状況の説明を受けました。



今日も楽しく元気良く

業調査特別委員会

実施計画の変更

6月12日、定例会終了後新委員になって初めての特別委員会が開かれました。(仮称白鷹町文化交流センター)のホールの柱4本を減らすことで室内外の利用方法が増し330名の収容が可能になり、天井に丸みをつけることで音響効果が良くなるために実施設計を変更します。そのことで建設費が2485万円増加するため、まちづくり交付金の範囲内で債務負担行為の補正を行うとの報告を受けました。



整備がすすむ文化交流センター付近

委員会

産建文教 町民プールと東中プールを統合し東中プール跡地に

6月14日に本委員会を開催し、請願審査1件と所管事務調査をしました。初めに、町道田尻中町線整備の請願で現地調査を行い、通学路として整備が必要と全会一致で採択となりました。産業振興課から、アルカディア財団の平成18年度の事業報告がありました。

平成20年度からは、一般会計と特別会計それに外郭団体会計（アルカディア財団含）との連結決算になることから、報告事項だけに留まらず、詳しい調査が必要となりました。

また、4月29日付けで副町長が、理事長に就任したことは「民間で出来るものは民間で」と進めているなか、逆行しているのではないかという意見がありました。

ヤナ公園整備で、今まで使用したトイレや浄化槽の撤去、樹木の伐採処分は700万円ほど必要であること。

また、道の駅指定後4月と5月は20%売上げが伸びたと報告がありました。

タナ力種畜牧場における畜産環境の状況は、4月から臭気を加温機内（フアイヤーサイクロン）で熱処理し、無害化してから放出するようにしているが、今後も監視を的確に行う必要があると報告を受けました。

教育委員会から、小中学校の耐震診断や町民プールの整備についての説明がありました。プールについては、白鷹町生涯学習

振興計画を受け、東中と町民プールを統合し、東中付近の候補地4箇所を検討した。

その結果、現在の東中プールを取り壊して整備し、平成21年5月から利用したいとの説明がありました。

建設水道課から、浄化槽設置事業個人設置型の工事費と個別排水処理事業の受益者負担金に大差があることから、価格は正に向けて、9月議会まで具体策を示すことになりました。



現地調査（町道田尻中町線）

特別委員会

鮎貝まちづくり事

開館後は民営に移行
管理運営基本計画（素案）の説明のなかで、オープン当初は町の責任で町民参加の仕組みづくりを行い、事業運営に職員を数名派遣しながら、開館後2～3年後を目途にNPOなどを含めた民営に移行していきたいとしています。

委員からは、施設の管理運営費の削減に努めてほしい。

NPOの立ち上げを急ぐべきではないのか。

貸館の利用料金などを含めて基準を明確にしてほしい。

などの意見がありました。

工事発注は、専門性が求められる工事となるので、町内事業者と町外事業者のJV方式との説明がありました。

外郭団体 経営報告



にぎわうパークゴルフ場

(財)アルカディア財団

経営はうまくいっているのか

平成18年度事業

パソコン講習会

商工会、財団独自の講習会を開催しました。

・受講者総数 86名

・延べ日数 29日

20周年記念イベント開催

パレス松風創業20周年を記念し、9月を特別感謝月間と位置づけ、宿泊・日帰りなどで特別企画を行いました。

パレス松風の年間宿泊者数

1万1473名で前年度より37名の減少となり、

売上総額375万円の減少となりました。

平成18年度決算

公益事業

営業収入5967万円、営業費用6392万円となり基本財産利息と雑収入41万円を加え、差引き383万円の欠損となりました。

収益事業

営業収入3億2431万円、営業費用3億2406万円で25万円の増となったが雑収入及び支払利息を含め結果的には32万円の減益となりました。

白鷹町土地開発公社

平成18年度事業

公有地取得事業

平成8年度取得のヤナ公園用地8301㎡、平成9年度取得の蒔沢萩野線道路用地2913㎡を町に売却しました。

土地造成事業

白鷹ニュータウン内公社所有土地（道水路など）

を町に寄付しました。

受託事業

町有地の所有権移転業務、68筆面積8924㎡を行いました。

平成18年度決算

収入

ヤナ公園用地売却収入及び、その他の収入を合計して6146万円となりました。

支出

ヤナ公園・その他の用地売却原価と販売費及び一般管理費の合計5450万円となり、収入、支出差引き696万円の黒字となりました。



整備された道路（宝前町）

人事

人権擁護委員候補者

小口豊吉 氏（鮎貝）
小形綾子 氏（畔藤）

前号で紹介した、十王財産区管理委員の原田富男氏は、「原田富雄」氏の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

請願

審査の結果はどうなった

採択された請願

町道田尻中町線の道路整備について
請願者 東横田尻区長 土屋敬二ほか



事業収益 7280万円
事業費用 7268万円
(人件費7260万円)

平成18年度決算

- 業務受注状況
受注先 白鷹町立病院 訪問看護ステーション
町民税務課 健康福祉課
- 役員数
役員 2名（非常勤・無給）
- 職員数
職員 24名
- ・病院医療事務員9名・病院事務補助員2名
 - ・訪問看護医療事務員1名・技術室等補助員3名
 - ・調理業務員5名・国保医療事務員1名・保育士3名

平成18年度事業

主に白鷹町立病院に従事しています

（有）ケイエスしらたか



町立病院受付

追跡レポート

あの質問のゆくえ

定例議会で質問された課題が、その後どのように町政に反映されたかを検証します。



平成16年5月に、開設された「ちよぼらの家」

託老所などへの町の基本姿勢は

白光園の入所希望待機者が100名ほどいます。町民の力を借りた託老所などの整備が望まれています。基本的な考え方と支援の方法をいめしてはいかがでしょうか。

平成15年6月定例議会

町長答弁

今後研究していく

施設整備は、民間で良いのか、運営をどうしていくのか研究します。

どうなった

「ちよぼらの家」の開設を支援

介護認定を受けていない人も含め、交流や介護のお手伝いをする場所として、ボランティア任意団体「ちよぼらの家」の開設を支援しました。

安心して暮らせる町づくりに福祉ボランティア活動は大きな力です。これからも介護シルバーボランティア活動などを育成し、支援していきます。

議会の様子を見てください

傍聴手続きは簡単、議会事務局(85-6135)へお問い合わせください。

次の定例議会は **9月** です

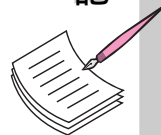
議会中継もご覧ください

お手持ちのパソコンでご覧いただけます
録画でもご覧いただけるようになりました

HP <http://www.town.shirataka.yamagata.jp/gikai/>

議会中継

編集後記



19年4月22日の統一地方選挙の町議会選挙で、白鷹町議会の体制も新しくなり議会広報委員に5名の議員が選任されました。

これまでも町民に親しまれ、わかりやすく読みやすい議会報を旨として発行してまいりました。今後委員一同、力を合わせて、白鷹町議会報の特徴ともいえる「議員の自主編集」を踏襲した発行をしてまいります。

さて、7月29日は参議院選挙です。年金、教育問題など国民生活に一日たりとも欠かせない重大な課題を決する選挙です。

都市と地方の格差、地方の未来はあるのか。そして白鷹町は？
(大滝)

発行責任者・議長	
船山 仁	
広報委員	
委員長 大滝 賢	
副委員長・編集長 関 千鶴子	
委員 佐藤 誠七	
委員 守谷 丹吾	
委員 菅原 隆男	
印刷(株)松川屋印刷	